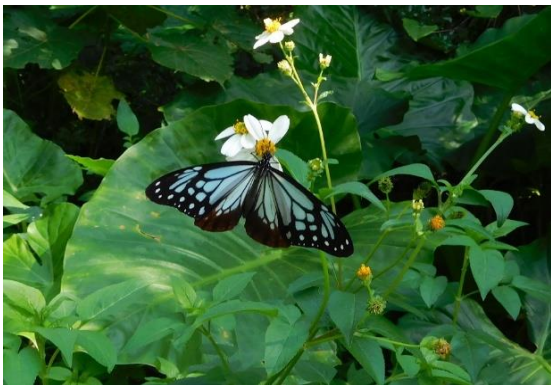


和名	分類	特徴ほか	会える場所											
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
アサギマダラ	タテハチョウ科	大型、半透明の薄い藍色が目立つ優雅な飛び方	X	X	△	関東太平洋沿岸～ 西日本以南								
			成虫発生時期 (月)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹	発生回数/年			越冬形態								
キジョランほか			3			幼虫								



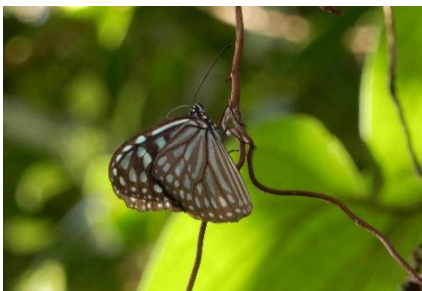
長野県諏訪郡 8月12日 (2019年) 個体数が増え、秋に南に渡る



宮古島 (伊良部島) 3月27日 (2019年) センダングサ

あさぎ色 (浅葱色) とは薄い藍色で日本の伝統色のひとつです。羽のあさぎ色の部分は半透明で余り羽ばたかず風に乗って飛んでいる姿は優雅そのものです。

秋に南方 (与那国、台湾方面) に集団で渡り、春はその逆の渡りをするのが知られていますが、風に乗るとはいえ2000キロもの距離を移動していることになります。この長距離移動の実態を把握するために、各地で捕らえては記録を羽に記し、また放すという「マーキング調査」があちこちで行われています。



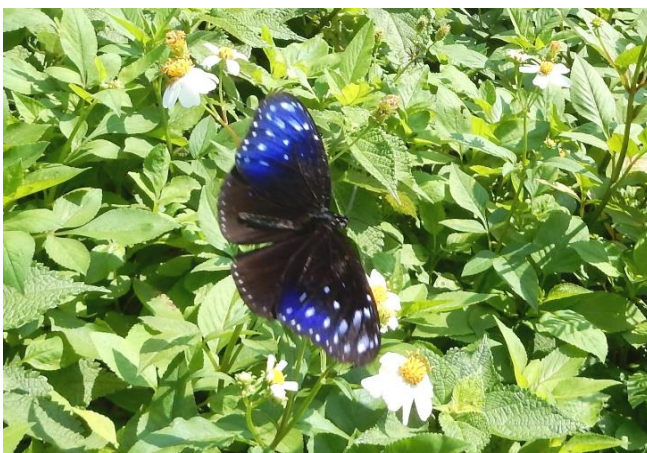
1. リュウキュウアサギマダラ 宮古島



2. スジグロカバマダラ 宮古島



3. オオゴマダラ 宮古島



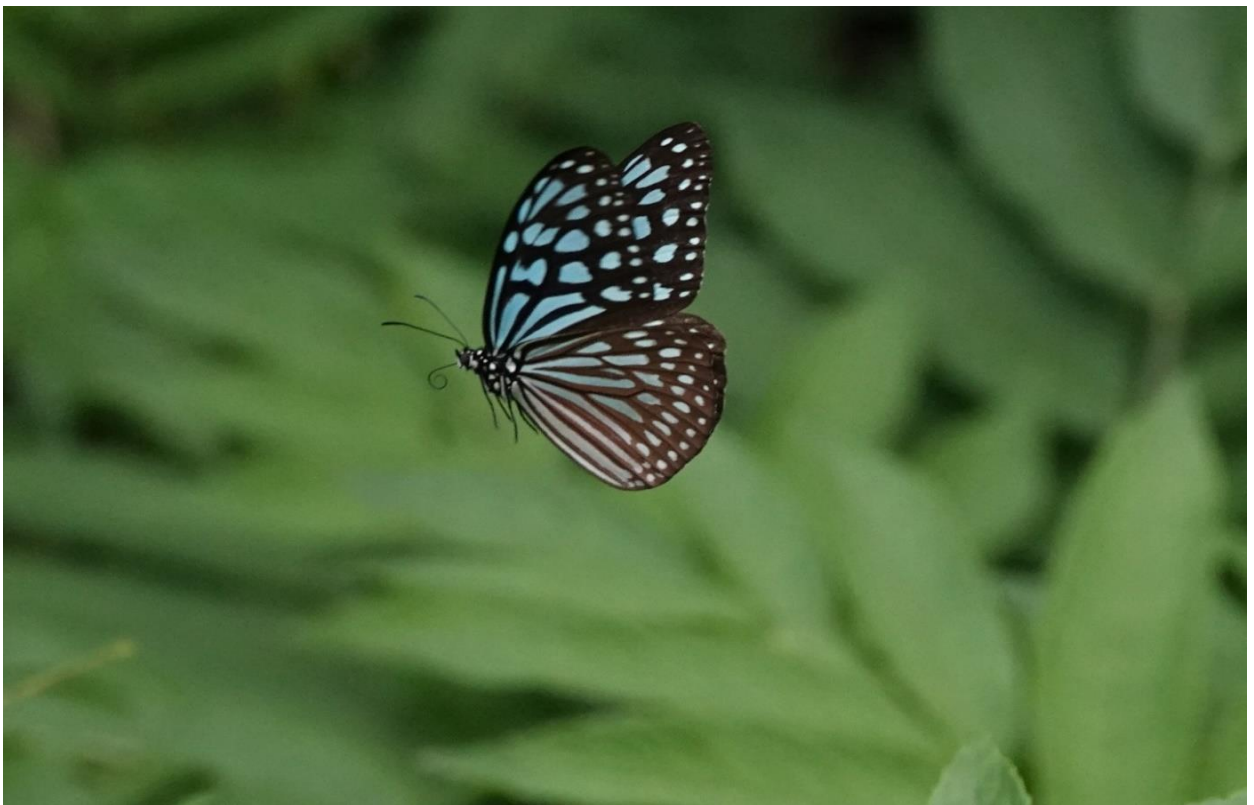
4. ツマムラサキマダラ 宮古島

宮古島 (沖縄南西諸島) のマダラチョウ (3月下旬)

- リュウキュウアサギマダラ
奄美大島以南に分布
- スジグロカバマダラ
八重山諸島以南に分布。アメリカにいるよく似た Monarch butterfly と呼ばれるオオカバマダラが、規模かつ長距離 (カナダとカリフォルニア或いはメキシコ間) の移動をすることが知られている
- オオゴマダラ
喜界島、沖縄島以南に分布する大型のマダラチョウ。いきなり出くわすとその大きさに驚かされる
- ツマムラサキマダラ
沖縄島以南に分布。南の蝶特有の紫の幻光を発する



アサギマダラ 長野県諏訪郡 8月26日 (2022年) マツムシソウで吸蜜



リュウキュウアサギマダラ 石垣島 2月12日 (2020年)



ツمامラサキマダラ 石垣島 10月14日（2020年）ハマセンダンに飛来



ツمامラサキマダラ 石垣島 10月14日（2020年）センダングサに飛来



アサギマダラ 長野県諏訪郡 8月27日（2021年） マツムシソウのお花畑を飛ぶ



アサギマダラ 川崎市生田緑地 10月21日（2022年） 東高根森林公園、多摩川土手でも見たことはあったが、生田緑地では初めて